



平成 20 年 5 月 29 日

各 位

株式会社 ヨロズ

横浜市港北区樽町三丁目7番60号
代表取締役社長 志 藤 昭 彦
(コード番号 7294 東証第一部)
問合せ先 取締役管理部長 河原 清
(TEL. 045-543-6802)

中期経営計画における目標値の変更について

このたび当社は、現在取組んでおります中期経営計画「ヨロズサクセスプラン」について、各年度の業績目標値を以下のとおり変更いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績目標

「ヨロズサクセスプラン」では、2011年度の目標として、連結売上高:1,300億円以上、連結売上高営業利益率:6%以上と定め取組んでおります。(この目標値は変更していません。)

平成20年5月15日に発表しました平成21年3月期(2008年度)業績予想を踏まえ、2009年度及び2010年度の業績目標を以下の通りとしました。

【修正後連結業績予想及び目標】

(単位:百万円)

	2007年度 実績	2008年度 業績予想 (平成20年5月15日発表)	2009年度 目標	2010年度 目標
連結売上高	118,784	111,100	117,400	123,500
連結営業利益	7,733	5,860	6,500	7,200
連結売上高 営業利益率	6.5%	5.3%	5.5%	5.8%

(注)業績予想及び目標値の前提とした為替レートは、1USDドル=100円であります。

なお、2007年度平均為替レートは、117円85銭でした。

【修正前連結業績予想及び目標】

平成19年6月14日発表数値

(単位:百万円)

	2007年度 業績予想 (平成19年5月18日発表)	2008年度 目標	2009年度 目標	2010年度 目標
連結売上高	109,800	119,800	121,900	—
連結営業利益	4,060	5,150	6,030	—
連結売上高 営業利益率	3.7%	4.3%	4.9%	—

(注)業績予想及び目標値の前提とした為替レートは、1USDドル=118円であります。

2. 修正の理由

前年度に策定した目標値は、2007年度の業績予想をもとに、為替レート的前提を1USDドル=118円として決めたものです。今回は、2008年度の業績予想をもとに、為替レート的前提を1USDドル=100円として目標を見直いたしました。その結果、売上高は為替の影響を受け下方修正となりましたが、利益面では「ヨロズサクセスプラン」の着実な成果により上方修正となりました。

以 上

2008年5月29日(木)公表資料

中期経営計画

(ヨロズサクセスプラン)

株式会社 **ヨロズ**

東京証券取引所 市場第一部
(証券コード: 7294)

注意事項(必読)

注 意

本資料をご覧いただく前に必ず下記の注意事項をお読みください。
なお、本資料ご利用時点で下記注意事項をお読みいただいたものとみなします。

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願い致します。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願い致します。

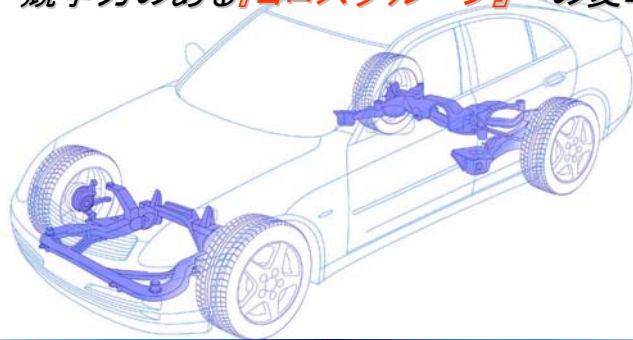
YORUZU

ヨロズグループの経営方針

中期ビジョン

小粒な会社でもグローバル規模のエクセレントカンパニー

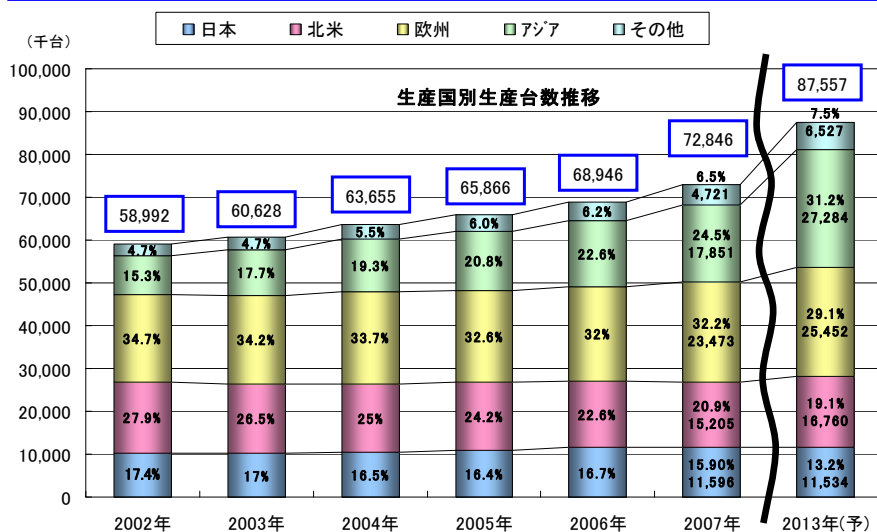
公正で透明度の高い企業活動で
競争力のある『ヨロズグループ』への変革



YORZU

世界の自動車生産動向

自動車産業は、世界経済を牽引する成長産業



参考資料: マークラインズ、社内資料(一部推定)

YORZU

中期経営計画(ヨロズサクセスプラン)

YSP ヨロズサクセスプラン (ヨロズ成功への作戦)

目標

達成時期: **2011年度**

連結売上高: **1,300億円以上**

連結売上高営業利益率: **6%以上**

方策

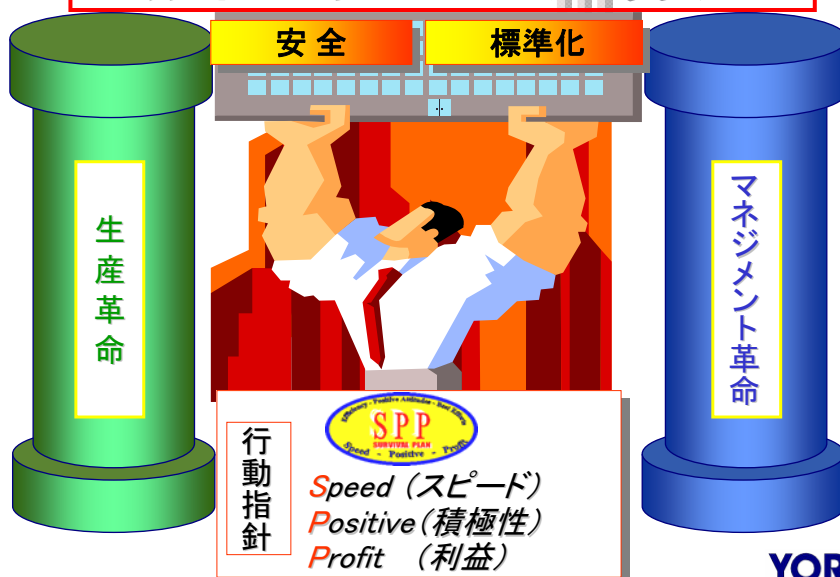
経営改革の二本柱の推進
(生産革命、マネジメント革命)

開発力の強化

YORZU

経営改革の二本柱の推進

競争力あるヨロズグループ



YORZU

生産革命

● YPW(ヨロズ・プロダクション・ウェイ)の進化

トヨタ生産方式(TPS)の導入による革新的なモノづくり確立

- ・生産・製造技術の革新
- ・改善マインドを醸成し、DNA(遺伝子)として継承



混流生産ライン実現(大部屋化)



全員参加の改善活動

YORZU

マネジメント革命(マトリックス組織)

地域 機能		北米グループ					アジアグループ			日本グループ						
		Y A	Y A T	Y A N A	Y A M	Y M E X	Y T C	Y E S T	Y B M	栃 木	大 分	愛 知	庄 内	Y E	Y S	
Y G H O E L E M E N T	販 売	・「グローバル受注計画」に基づく、本社・各拠点統一営業活動														
	品 質	・ヨロズ品質保証システムのグローバル展開による品質向上														
	開発・技術	・サイマル（開発・生産準備の同時進行）による最速・最良のモノ造りを実現しグローバルに展開														
	生 産	・安全を確保し品質及び収益力の向上と競争力の向上 ・徹底したムダの排除と変化に強い生産システムづくり														
	生産管理 （調達・工 順）	・調達：グローバル最適調達 ・工順：グローバル最適生産拠点														
	人 事	・『人の質向上』による人材育成とグループ内の適材適所へのグローバルローテーション														
	利益企画	・『営業利益率6%以上』達成の為の方策立案と目標の割り付け ・グループ内資金の集中運用による有利子負債の削減														

(注) YGHO: Yorozu Global Headquarters Organization

YORZU

開発力の強化

小粒な会社でもグローバル規模のエクセレントカンパニー

中期ビジョンの達成



中期ビジョン達成のための土台

・S(安全)・Q(品質)・C(原価)・D(供給)

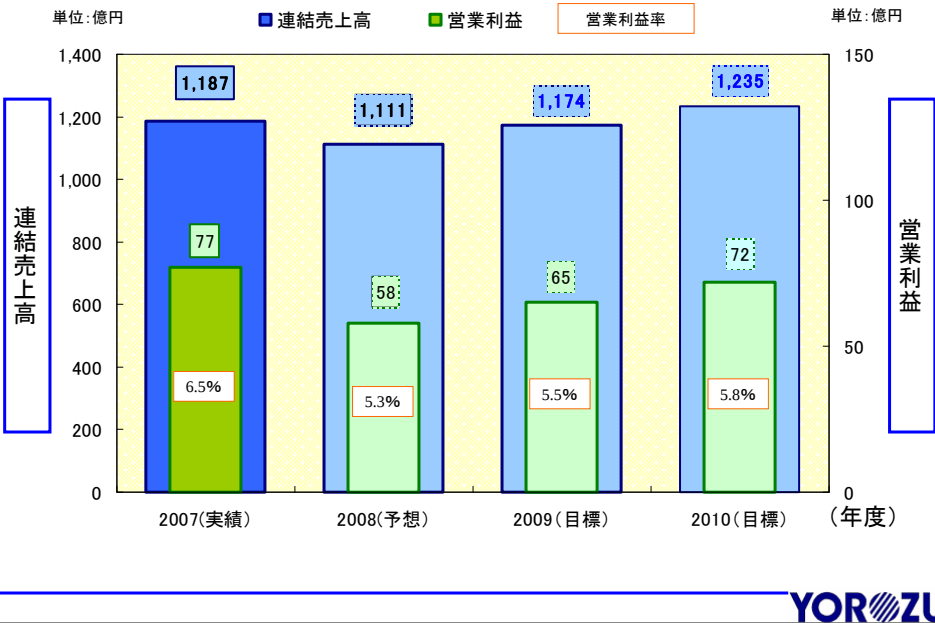
YORZU

中期経営計画

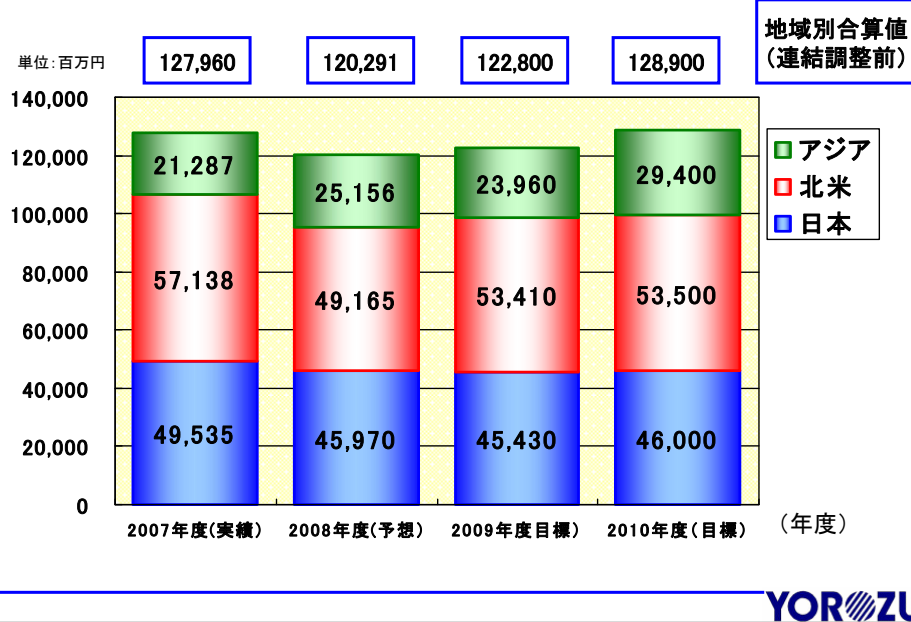
数値目標

YORZU

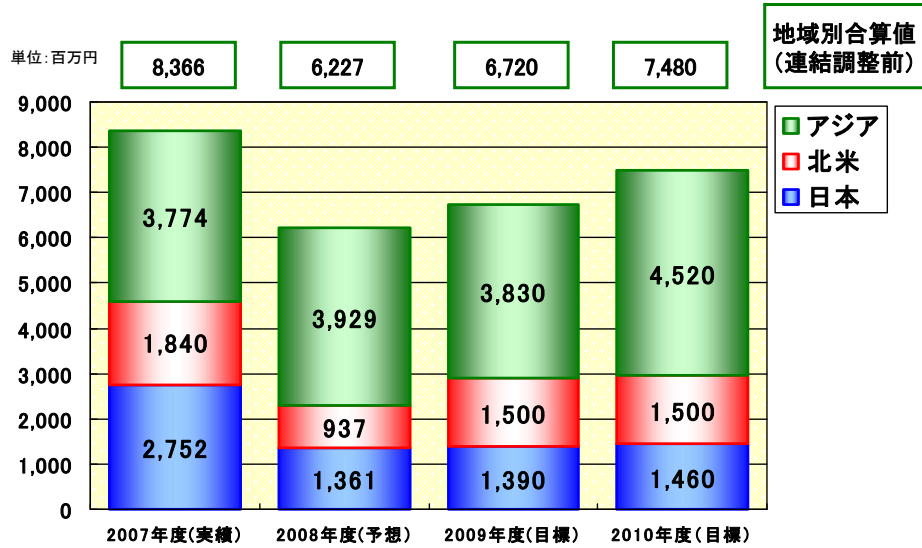
中期連結業績目標



地域別売上高

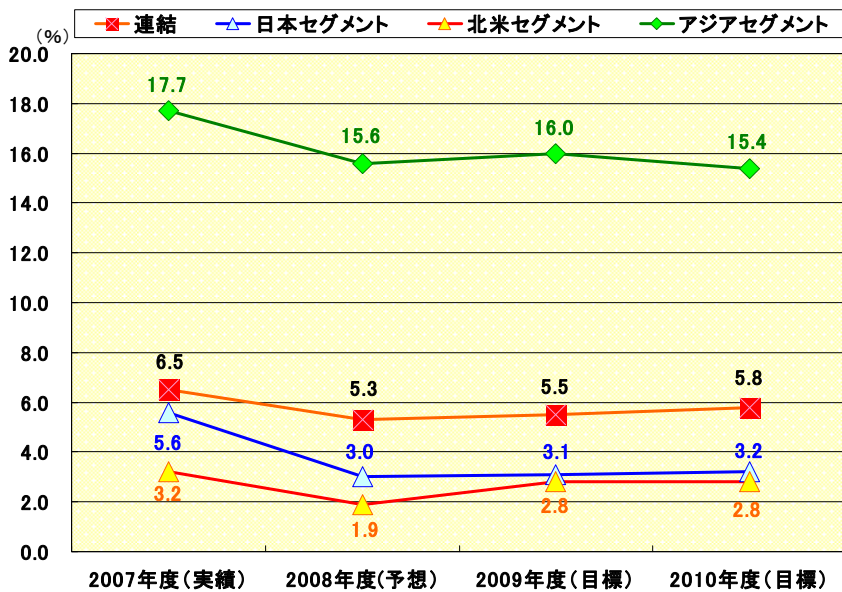


地域別営業利益



YORZU

売上高営業利益率の目標

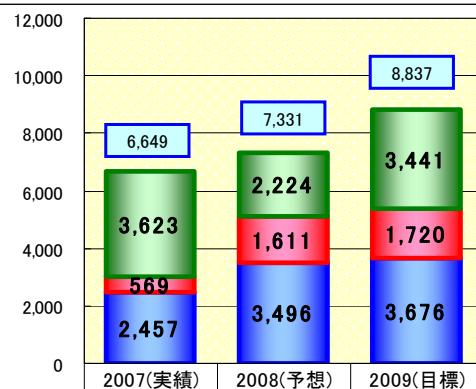


YORZU

設備投資と減価償却

設備投資

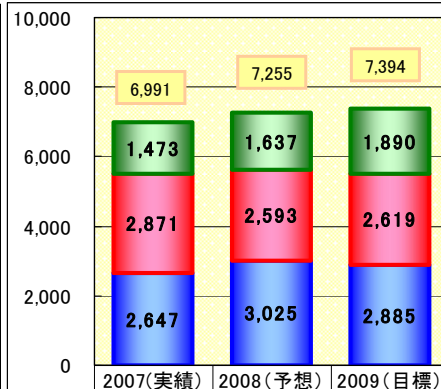
単位: 百万円



■ アジア	3,623	2,224	3,441
■ 北米	569	1,611	1,720
■ 日本	2,457	3,496	3,676

減価償却

単位: 百万円



■ アジア	1,473	1,637	1,890
■ 北米	2,871	2,593	2,619
■ 日本	2,647	3,025	2,885

※ 上記のグラフは、単純合算値となっております

YORUZU